

2025年5月12日

三井住友信託銀行との私募リート組成推進について

京急アセットマネジメント㈱による私募リート組成を協力して進めます

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，取締役社長：川俣 幸宏，以下 京急電鉄）は，2025年5月12日（月）に，三井住友信託銀行株式会社（本社：東京都千代田区，取締役社長：大山 一也，以下 三井住友信託銀行）と，相互に協力して私募リート組成を推進する「私募リート事業に関する基本協定書」（以下 本協定）を締結いたしました。

京急グループでは，「移動」と「まち創造」2つのプラットフォームが織りなす相互価値共創のスパイラルアップにより持続的な沿線の発展と，不動産事業の成長・資本収益性の向上を両立するため，不動産の回転型事業を推進しています。本協定はその具体的な取り組みの一環として締結するものです。

本協定に基づき，京急電鉄および三井住友信託銀行は，京急電鉄が昨年7月に設立した京急アセットマネジメント株式会社（本社：東京都千代田区，取締役社長：芝田 知広，以下 京急AM）を私募リートの資産運用会社と想定して，同社に対する追加出資や人材派遣などを含む資産運用会社として必要な体制の準備を，協議，協力して行います。

また，京急AMは，京急電鉄から，私募リートへの京急グループの開発・保有する不動産および不動産管理運営ノウハウ等の提供を，三井住友信託銀行から，不動産や金融に対する幅広い知見等の提供を受けることで，品川・羽田・横浜の「成長トライアングルゾーン」を中心とした物件を長期的に安定運用する総合型の私募リートを組成することを目指します。

京急グループは，三井住友信託銀行と双方の強みを活かした私募リート組成，資産運用会社による許認可取得等の準備を着実に進め，不動産回転型事業の推進による事業の成長・資本収益性の向上を図り，沿線の発展と京急グループの持続的成長を目指します。

参 考

1. 京急アセットマネジメント株式会社の概要

- (1) 社 名 京急アセットマネジメント株式会社
- (2) 本 社 東京都千代田区神田錦町 3-6
- (3) 取締役社長 芝田 知広
- (4) 資 本 金 9,800 万円
- (5) 株 主 京浜急行電鉄株式会社
- (6) 設 立 2024 年 7 月 1 日
- (7) 目 的 宅地建物取引業，金融商品取引業およびこれらに付帯・関連する事業
※今後，法令上必要となる免許取得および登録実施などを行ってまいります。



2. 三井住友信託銀行株式会社の概要

- (1) 社 名 三井住友信託銀行株式会社
- (2) 設 立 1925 年 7 月 28 日
- (3) 本 社 東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 1 号
- (4) 取締役社長 大山 一也
- (5) 三井住友トラストグループについて



三井住友信託銀行株式会社を中核とする三井住友トラストグループは、「託された未来をひらく」をパーパスとして掲げ，幅広い信託機能を活用して資金・資産・資本の好循環を実現し，社会の新たな価値の創出に取り組んでいます。

資産運用ビジネスにおいては，政府が掲げる「資産運用立国」の実現にも貢献すべく，幅広い投資家への多様な投資機会の提供に向け，多様で実力のある運用会社とパートナー化を進めており，不動産・インフラをはじめとするプライベートアセット領域を強化しています。

特に，不動産領域においては，法人・不動産事業で長年培った専門的かつ多様な不動産ビジネスに係る知見を活用し，グループ関係会社の三井住友トラスト不動産投資顧問株式会社と一体となった資産運用ビジネスを行っており，今回の取り組みを通じ，三井住友トラストグループが推進する資金・資産・資本の好循環を促進していきます。

3. 京急グループ第 20 次総合経営計画について

京急グループは，2024 年度から，『移動』と『まち創造』2つのプラットフォームが織りなす相互価値共創のスパイラルアップにより持続的に発展する沿線を実現する」ことを長期ビジョンとし，2040 年度を長期ビジョンの実現年度，2024 年度から 2026 年度までを中期経営計画期間とした第 20 次総合経営計画を推進しています。

また，京急グループは，目標経営指標を含む第 20 次総合経営計画の一部変更を 2025 年 5 月 12 日（月）に公表いたしました。不動産事業戦略や各事業における資本収益性の向上，資本政策の見直しにより，持続的な企業価値向上の実現を目指してまいります。

京急グループ第 20 次総合経営計画の一部変更について

URL <https://www.keikyu.co.jp/ir/release/>

以 上